

新刊紹介

|||||

臨床現場のもやもやを解きほぐす 緩和ケア×生命倫理×社会学

著 森田達也、田代志門
発行 医学書院
定価 2640円(本体2400円+税10%)

臨床現場は、答えに辿りつかない「もやもや事例」に満ちている。緩和ケア医・森田達也が事例を提供し、緩和ケアの立場からの望ましい対応を解説する。生命倫理学者兼社会学者・田代志門が倫理の専門家としての経験から実践的な解を導く。2人のリアルな往復書簡が、臨床のもやもやを解きほぐす。

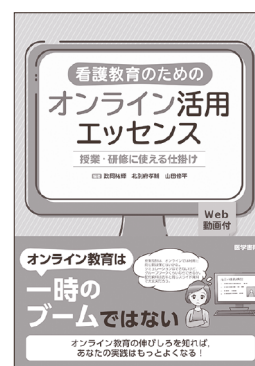


看護教育のためのオンライン活用エッセンス

授業・研修に使える仕掛け [Web 動画付]

編著 政岡祐輝、北別府孝輔、山田修平
発行 医学書院
定価 2860円(本体2600円+税10%)

対面と同じくらいに重要となったオンラインでの教育。どちらが優れているかを議論する段階は終わり、オンラインを使いこなし、最大限の学習効果を発揮することが求められている。本書は4つの教育のコアに焦点をあて、オンラインを使いこなすためのエッセンスを紹介する。豊富な事例、Web 動画からも授業設計、教育実践のヒントが得られる1冊。

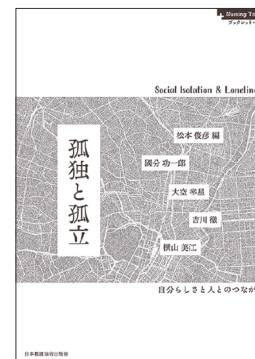


孤独と孤立

自分らしさと人とのつながり

編著 松本俊彦
著 國分功一郎、大空幸星、吉川徹、横山美江
発行 日本看護協会出版会
定価 990円(本体900円+税10%)

他者や社会とのかかわりの脆弱さから社会的孤立状態に陥ると心身に悪影響を及ぼすことが大きな健康課題であると、国も認めはじめた。分断を広げたコロナ禍、孤立する高齢者はもちろん、生きづらさや孤独に悩む若者にはどんな支援が必要なのか。ICTでのかかわりも含め、誰ひとり取り残さないつながりのあり方を考える。



看護の証を紡ぐ

「私の看護」を語り描く世界

著 陣田泰子
発行 看護の科学新社
定価 1980円(本体1800円+税10%)

10年以上の時を超えて断続的に続けられた看護師たちとの対話。そこには、めざす看護があるからこそ悩み、自身の看護実践を見つめ、自問自答のなかで育まれるエキスパートナース1人ひとりの成長の物語があった。看護現場学を提唱し、自らの看護の概念化をとおして、1人ひとりのキャリア形成を支援してきた著者の取り組みの集大成。

